
コミュニケーション科学

第 35 号 2012 年 3 月

目 次

林 龍二教授退任記念号

林 龍二教授近影

林 龍二教授の退職記念号に寄せて……………渡 辺 潤… 3

林 龍二氏年譜ならびに主要業績目録

日本の決断(番外編)——決断できなかった日本—— ……林 龍 二… 11

論 文

父さんは犬——広告における擬人化……………関 沢 英 彦… 19

人生評価に及ぼす誕生日の心理的效果……………川 浦 康 至… 49

企業不祥事の構造的要因に関する広報学上の課題

——食品業界の不祥事を事例として——……………駒 橋 恵 子… 63

地域における情報コミュニケーション

——「郡上村」の情報通信メディア利用から——……………安 藤 明 之… 93
川 又 実

「新しい新聞学」の誕生と「マスコミ」論の影響——井口一郎に

始まる戦後の“アメリカ種”研究の移入——……………田 村 紀 雄…123

「英語コミュニケーション」の授業における筆記・書写活動の取り組み

——東京経済大学での実践報告——……………三 宅 ひろ子…135
大和久 吏 恵

歩いて街に文字を刻む——ポール・オースター

『ガラスの街』の間テクスト的分析—— ……成 瀬 厚…153

大学新卒者採用における「求める人材像」の業種別傾向に関する研究

～企業ウェブサイトの発信メッセージ分析を通して～……………岩 崎 暁…179
西久保 日出夫

〈言語を語る言語〉の不自由……………川 原 潮 子…209

研究ノート

World Tea Party Yokohama——Vancouver から ……大 榎 淳…233

報 告

博士学位論文・修士学位論文一覧(2010 年度)……………237

『コミュニケーション科学』投稿規程

2002 年 12 月 改訂

1. 投稿資格 本会の会員および研究・教育機関に所属する研究者（大学院生を含む）またはそれに準ずる経歴を持つ方は投稿資格を持ちます。広く「コミュニケーション科学」に関する研究成果の投稿を歓迎します。
2. 原稿枚数 原稿枚数は原則として次の通りとします。

論文 : 400 字詰原稿用紙 80 枚（注及び図・表などを含む）以内
（欧文の場合、A4 版ダブルスペース 1 行 60—70 字、28 行—32 枚以内）。

研究ノート : 同じく 60 枚以内（欧文、同じく 24 枚以内）。

資料 : コメントを含む。同じく 30 枚以内（欧文、同じく 24 枚以内）。

翻訳 : コメントを含む。同じく 30 枚以内（欧文、同じく 24 枚以内）。

書評 : 同じく 15 枚前後（欧文、同じく 6 枚前後）。

評論・報告 : 同じく 60 枚以内（欧文、同じく 24 枚以内）。

なお、原稿には必ず「欧文タイトル」と「欧文氏名」をつけ、所定の執筆申込み用紙に他の必要事項とともに記入し、原稿と一緒に提出して下さい。外部からの投稿の場合には、事前に執筆申込み用紙をお取り寄せ下さい。
3. コミュニケーション科学付属 CD-ROM への投稿 コミュニケーション科学付属 CD-ROM へ投稿する場合には、容量や動作環境の問題がありますので、あらかじめ編集委員会までご連絡下さい。また、付属 CD-ROM のある号の発行時期との関係で、掲載が多少遅れる場合があります。
4. 投稿形式 原稿は原則としてワープロ、パソコンでプリントアウトしたものとし、フロッピー・ディスクを添付して下さい。なるべく MS-DOS のテキストファイルで提出して下さい。なお、カラー印刷など、特別な処理を必要とする場合には必要経費をご負担いただくことがあります。
5. 審査 投稿、依頼を問わず、寄稿された原稿（コミュニケーション科学付属 CD-ROM も含む）を掲載するか否かは、編集委員会で審査の上決定します。査読に要する時間の関係で、掲載が多少遅れる場合もあります。
6. 校正 校正は著者校正を原則とします。審査制度を設けている関係で、掲載決定後の校正段階での誤植以外での修正は原則として認めません。校正段階での大幅な加筆のあった場合、掲載延期または掲載取消とし、組み替えなどによる必要経費はご負担いただくことになります。
7. 原稿送付先および問い合わせ先は、次の通りです。

〒 185-8502 国分寺市南町 1-7-34 東京経済大学コミュニケーション学部
東京経済大学コミュニケーション学会
コミュニケーション科学編集委員会
電話 042 (328) 7743 FAX 042 (328) 7772

執筆者紹介(掲載順)

渡 辺 潤	本学コミュニケーション学部長・教授
林 龍 二	本学コミュニケーション学部元教授
関 沢 英 彦	本学コミュニケーション学部教授
川 浦 康 至	本学コミュニケーション学部教授
駒 橋 恵 子	本学コミュニケーション学部准教授
安 藤 明 之	本学コミュニケーション学部教授
川 又 実	本学コミュニケーション学研究科 博士後期課程在学
田 村 紀 雄	本学名誉教授
三 宅 ひろ子	本学経営学部特任講師
大和久 吏 恵	本学経済学部特任講師
成 瀬 厚	本学コミュニケーション学部非常勤講師
岩 崎 暁	本学コミュニケーション学研究科 博士後期課程在学
西久保 日出夫	本学コミュニケーション学研究科 修士課程在学
川 原 潮 子	元朝日新聞社勤務
大 榎 淳	本学コミュニケーション学部准教授

コミュニケーション科学 第35号

〈非売品〉

発 行 2012年3月7日

編 集 者 吉 井 博 明

編 集 東京経済大学コミュニケーション学会
発 行 人 コミュニケーション科学編集委員会

〒185-8502 東京都国分寺市南町 1-7-34
電話 042-328-7743 (直通)
FAX 042-328-7772

印刷・製本 株式会社 精興社

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-9
電話 03-3293-3021 (直通)

☐ 送付に関するお問い合わせ先

本学では、「紀要」交換業務は、図書館が行なっております。

東京経済大学図書館・「紀要」担当

〒185-8502 東京都国分寺市南町 1-7-34

電話 042-328-7763 (直通) FAX 042-328-7777

東京経済大学コミュニケーション学会会則

- 第1条 本会は東京経済大学コミュニケーション学会という。
本会の事務局は、東京経済大学コミュニケーション学部に置く。
- 第2条 本会はコミュニケーションの研究の進展およびその普及を目的とする。
- 第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。
①機関誌『コミュニケーション科学』の発行及び普及
②研究会及び講演会の随時開催
③その他
- 第4条 本会の会員は次の者とする。
①東京経済大学コミュニケーション学部の専任教員
②東京経済大学の教員で入会を希望する者
③東京経済大学コミュニケーション学部の専任教員を退職した者
- 第5条 1 本会に次の役員を置く。
①会長
会長は会を代表する。
②理事
理事は会の運営にあたる。ただし、理事の人選については別に定める。
2 役員の任期は1年とする。ただし再任はこれを防げない。
- 第6条 本会の会員は、第3条に定める目的を達成するために、会の運営に協力する。
- 第7条 本会の会費については別に定める。
- 第8条 本会則の改正及び変更は会員総会の決議による。